

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくしの家婦中		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 18日	～	令和7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)
			9
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 18日	～	令和7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)
			11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供ができており満足度が高い。	自己決定を促す支援を心掛けている。本人の意思を確認し選択肢の提供をしている。	コミュニケーションツールを増やして行くことで利用児の理解を深めていく。
2	利用児の個々の特性に合わせ支援に適した環境を整えることができる。	部屋がいくつかあるので適した部屋割り、配置ができる。	継続して取り組んでいく。
3	現在は人員配置も十分でありじっくりとマンツーマンで対応でき、利用児もよほど通所してくれている。	支援の途中で職員が入れ替わることなく一貫して対応し、児童が安心して支援を受けられるようにしている。	継続して取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や健常児との交流を図る機会を持つ事ができていない(少ない)。	長期休みに地域の図書館などに出向くなどの活動はしているが、その障害特性により外出が難しい児童もいる。	つくし作り作成時、外出を多めにした活動予定にする。利用児童に合わせて無理しない内容で綿密に企画していく。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)について明確に支援できていると言えない。保護者の交流会も企画したが希望者はいなかった。	地域のイベントや支援家族に対する研修会のお知らせがあれば玄関の掲示板でお知らせしてきたが、そもそも件数が少なく、掲示板を見られない方も多い。	家族の悩み、困りごとなどを丁寧に聞き取り、希望などがあれば親身に対応していく。研修会やイベントがあれば口頭でもお知らせしていく。交流会は今後も企画していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つくしの家婦中

公表日 令和8年1月19日

利用児童数 令和7年11月 12人 (配布10人)

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78%	11%		11%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	89%			11%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%			11%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78%	11%		11%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	89%			11%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	78%			22%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22%	33%		44%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	56%	22%		22%		玄関の掲示板にはイベントや研修のポスターを掲示してありいつでも見れるようにしてあるが声がけも行っていく。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89%	11%				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67%	22%		11%		保護者の交流会は企画したが出席を希望された方はいなかった。今後も企画し声かけは行っていく。保護者交流会は兄妹も参加できるようにしていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89%			11%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	89%			11%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%	11%		11%		指針に沿って対応する事は説明してあるがその詳細については一人一人に説明できていないので折を見て説明していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	11%		22%		必ず児童も生活介護の利用者と一緒に避難訓練を行っており、連絡帳やつくし便りに掲載している。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%			11%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしの家婦中 (対象者11人)		公表日 令和8年1月19日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用者に合わせた居室対応をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	自閉傾向のある児童に対して絵カードを使用し、見通しが持てる様になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	その場の状況や利用児により活動に合わせた調整をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別に対応が必要になった場合、個室を利用してもらっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果を聞いてミーティングを設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	1日のサービスの終わりに振り返りを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	36%	45%	他の事業所から応援があった時に意見をきいて取り入れている。	今後も積極的に事業所間研修や応援に行ったり研修会などで他の事業所の職員と情報交換を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に意欲的に研修に参加している。レポートに職員全員が目を通している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	91%	0%	ケア会議を通じてスタッフ間で意見を出し合い共通理解している。実績表に個別計画書のコピーを添付し全員が目を通し易いようにしている。	ケア会議に職員全員が揃っての参加は勤務形態が違うのでできない。今後も全員の周知に向けて努力していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9%	82%	標準化されたものは使っていないが、インフォーマルなアセスメントを使用する事により自然な環境で本人らしい情報を捉えている。	主観が入らないよう毎日の行動分析を行い、保護者からの情報を得ながら職員全員で確認していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	91%	0%		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	91%	0%	役割分担をローテーションしながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	91%	0%	つくし便りを作成する際に活動が偏らないよう変化に富んだ内容にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個々の特性に合わせて必要な活動を提供するようにしている。	今後も、主に放課後は個別の活動、長期休暇は生活介護の利用者も交えて活動を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	業務日誌に支援内容や支援分担を計画し、全員が確認して支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	82%	0%	地域交流や創作活動、余暇にどのような支援をするか常に意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	絵やカードを使用し理解しやすいように努めている。また、選択できるような聞き方をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	82%	0%	体制という完全なものではないが関係機関の連絡先は把握しておりいつでも連絡がとれる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	91%	0%	学校のホームページを確認したり担任の先生に確認をとったりしているが、主に保護者を通じてが多い。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	73%	18%	相談支援員との情報共有でおおむね相互理解できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	学校での移行支援会議に必ず参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	55%	27%		研修案内があれば積極的に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	27%	45%	地域のイベントが土日に行われることが多いため参加することが難しい。戸外で会った時は挨拶している。	地区の図書館などに出かけて交流を図りたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	36%	36%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	玄関内の掲示板でお知らせしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	91%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	お迎えに来られた時に雑談の中から悩みなど伺えることがあれば助言したり、連絡帳で助言したり支援に繋げている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	73%	0%	保護者交流会の企画をし案内しているが希望者がいないため開催していない。	今後も企画し案内はしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	91%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9%	64%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		様々な災害や損害を想定してそれに対応できる訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91%	0%	現在食物アレルギーのある児童はいない。ある場合は医師の指示書は頂いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	91%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	91%	0%	いつでも閲覧できるよう玄関に危機管理マニュアルが置いてある。避難場所についても玄関外から見やすい場所に掲示してある。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	82%	0%		現在はやむをえず身体拘束しなければならぬ児童はいないが、そういうケースがあればしっかり対応していきたい。	